

リアルイズムの 韓国美術の

民衆の鼓動

1945-2005

2008年2月1日 金 - 3月16日 日

※月曜休館(ただし、祝日は開館、翌日休館)

主催／都城市立美術館、韓国国立現代美術館、読売新聞西部本社、美術館連絡協議会
 後援／駐日本国大韓民国大使館、韓国文化院、韓国日報社
 協力／ライオン、清水建設、大日本印刷、三菱商事
 KOREAN AIR CARGO

■前売券販売場所
 【宮崎県】山崎文科学、コスモス画廊、べいすん、ブルーリボン、宮崎県立美術館、宮崎山形屋、ボンベルタ橋、宮交シティ、コープみやざき各店、青木画材店
 【鹿児島県】霧島アートの森、山形屋、コープかごしま志布志店・国分店・始良店・鹿児島市内各店、集泉堂

민중의 고동 한국미술의 리얼리즘 1945-2005
 Art toward the Society: Realism in Korean Art 1945-2005

シンボル 申鶴淑 「韓国現代史-甲斐と甲順」部分 2002 韓国国立現代美術館



都城市立美術館
 〒885-0073 宮崎県都城市姉城町7街区18号
 Tel. 0986-25-1447 Fax. 0986-24-8103

韓国美術のリアリズム 1945-2005

民衆の鼓動

Art toward the Society:
Realism in Korean Art 1945-2005

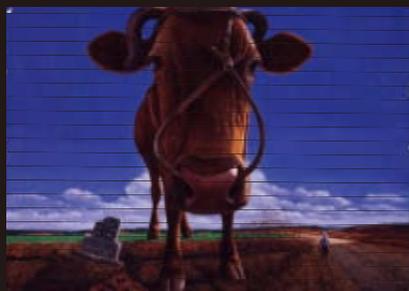
あなたはまだ、
韓国の「リアル」を
知らない。

アジアの現代美術の中でも韓国の美術は、日本でも早くから知られてきました。しかし日本に紹介されたのは、70年代の「単色絵画」といわれる抽象絵画、90年代以後のインスタレーションや映像作品が主であり、80年代の韓国で高揚した民主化運動を背景とする「民衆美術」は、ほとんど紹介されていません。本展は、その「民衆美術」を中心に、1945年から近年までの韓国美術におけるリアリズム傾向—現実社会を反映したり、現実社会の問題に向き合う美術—を初めて体系的に紹介する展覧会です。

韓国では、日本の植民地から解放後間もなく朝鮮戦争が起こり、国土が荒廃し、その後も軍事的な緊張が続きます。60-70年代の朴正熙、80年代の全斗煥と続いた軍事独裁政権は、経済成長をなしとげる一方、民衆の生活は向上せず、政治活動や表現の自由が抑圧されてきました。その中で、韓国の現状からかけ離れた、少数のエリートや愛好家のための美術に疑問を感じた美術家たちは、自分たちの生きる社会や人々の暮らしを見つめ、韓国独自の、民衆による民衆のための美術を作り出そうとしました。ここでは美術家は、政治・社会の問題を一般民衆に伝え、民主化運動のために機能する美術活動を実践したのです。このように、巨大な政治運動と密接に結びついた美術運動は、全アジアの美術史上でも希有のものといえます。

民主化がすすみ経済危機からの脱出もなしとげグローバル社会の一員となった今の韓国でも、「民衆美術」に見られた庶民への暖かい眼差しや、社会の現実・歴史に誠実に向き合うリアリズムの精神は、若い韓国作家の作品にも継承されています。

「韓流」ブームが一段落した今、より深く韓国を知り、その豊かな文化の脈を見つめるために、見逃せない展覧会です。



イジョング
李鍾九 「国土 - 東幕から」 1992 青冠齋コレクション



イム・オクサン
金玉相 「ひとつになることのために」 1989
韓国国立現代美術館



ホン・スンファン
洪成煥
「浴信一母さん、
故郷の青い海が見えます」
1996 ソウル市立美術館



キム・ソンファン
具湊 「父」 1983 個人蔵



キム・ソンファン
金宰弘 「空」 1990
韓国国立現代美術館



パク・ヨング
朴永均 「広場の記憶」 2003 作家蔵

◆入館料

一般	800円 (600円)
一般ペア	1,300円
高校・大学生	400円 (200円)
小学・中学生	無料

午前9時—午後5時
(入館は30分前まで)
月曜休館(2月4日、12日、18日、
25日/3月3日、10日)
()内は前売及び10名以上の団体
料金、福祉関係(65歳以上の高齢者、
障がいのある方)
※団体は電話でのご予約をお願い
いたします。

◆交通案内



J R:
日豊本線「西都城駅」下車徒歩10分
吉都線「都城駅」下車タクシーで10分
バス:
「美術館前バス停」下車
「広口バス停」又は「西広口バス停」下車徒歩5分
「市役所前バス停」下車徒歩2分
「早鈴入口バス停」下車徒歩3分
自動車:
宮崎自動車道「都城IC」から都城方面へ約20分
東九州自動車道「末吉 財部IC」から都城方面へ
約20分
駐車場(無料):
市役所駐車場約140台(身障者専用スペース1台)
※他施設との共用の為十分なスペースではありません。
なるべく公共交通機関をご利用下さい。

MMA 都城市立美術館
〒885-0073 宮崎県都城市旭城7地区18号
Tel. 0986-25-1447 Fax. 0986-24-8103

関連イベント

■美術講演会
「韓国アートとのつきあい方 美術史から街歩きまで」

黒田雷鬼(福岡アジア美術館学芸課長)
2月9日(土)午後2時～ 中央公民館 視聴覚室
参加無料、ただし観覧券チケットが必要

■土曜講座

2月16日、3月8日午後2時～
担当学芸員によるギャラリートーク

韓国物産店
2月9日(土)、10日(日)、11日(月・祝)